

## ◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎です。本年の累積報告数は15例となっています。
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、菌血症です。本年の累積報告数は10例となっています。
- ・ インフルエンザの京都市の定点当たり報告数は0.54(37例)で、前週 0.35(24例)よりも増加しました。また、全国の定点当たり報告数は1.38となり、厚生労働省は平成28年11月25日に流行シーズン入りを発表しました。手洗いの励行や咳エチケットを心掛けることにより、感染予防に努めましょう。
- ・ 感染症法第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(一部改正)  
平成28年11月21日から届出基準及び届出様式の一部が改正されました。改正の詳細については下記ホームページでご確認ください。  
○厚生労働省通知(厚生労働省ホームページ)  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000142154.pdf>  
○感染症発生動向調査事業に関する届出様式(保健医療課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

## ◆ 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

- ・ 本市では、平成28年7月から9月までの間、HIV感染者2例の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 298例(肺結核 159例, その他結核 65例, 潜在性結核感染者 74例)うち喀痰塗抹陽性 75例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 10例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

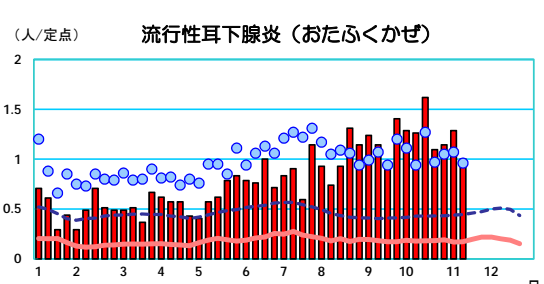
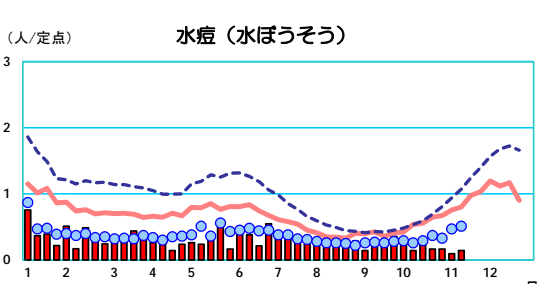
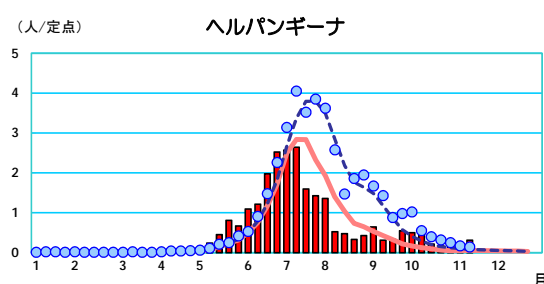
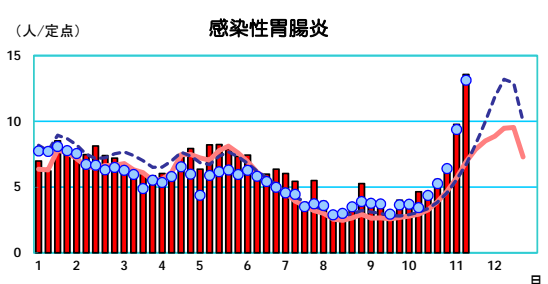
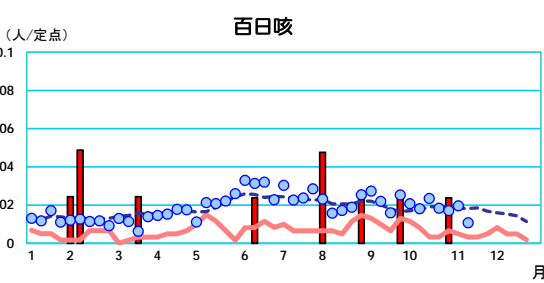
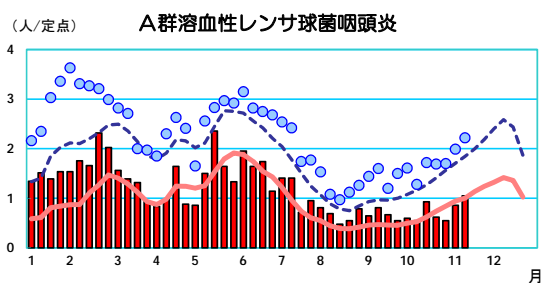
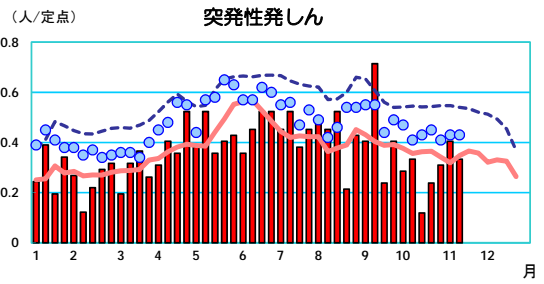
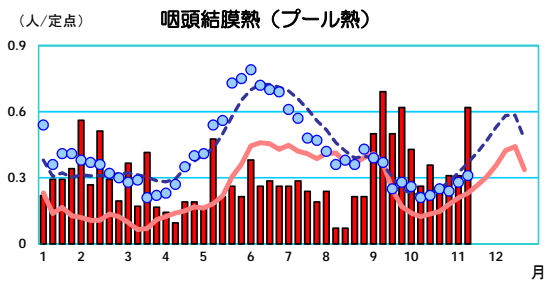
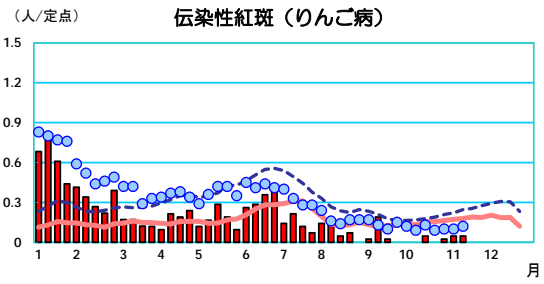
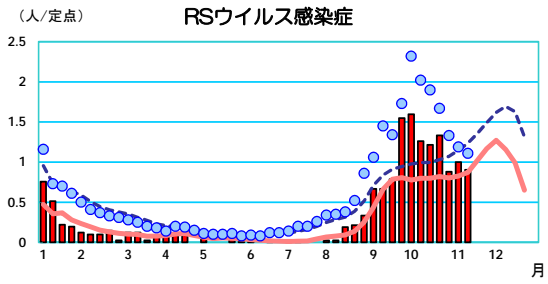
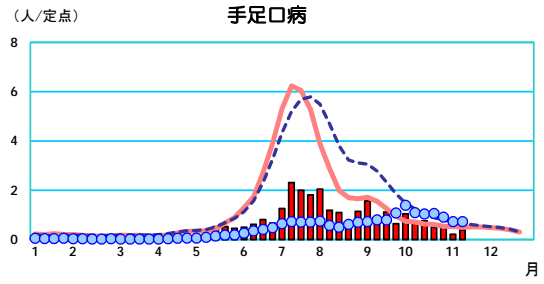
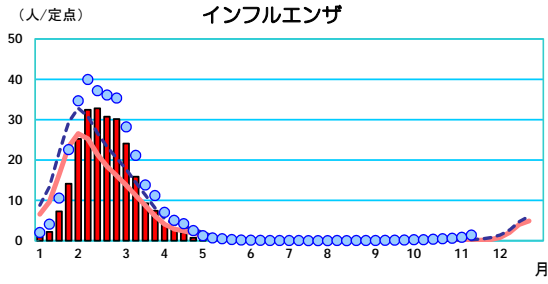
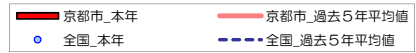
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ <sup>a</sup>	インフルエンザ	0.54	37
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	13.57	570
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	44
	③ 流行性耳下腺炎	1.00	42
	④ RSウイルス感染症	0.90	38
	⑤ 咽頭結膜熱	0.62	26
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年11月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第46週(11月14日～11月20日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとの後天性免疫不全症候群(AIDS)患者\*・ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染者\*\*数を公表しています。本市では、平成28年7月から9月までの間、HIV感染者2例の報告がありました(平成28年11月22日広報発表 下記URL参照)。

昭和62年以降の累積報告数は299例(AIDS患者97例(32.4%)、HIV感染者202例(67.6%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が242例で、全体の80.9%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が131例と最も多く、全体の43.8%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

世界保健機関(WHO)は、1988年にエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動等を世界的に取り組むことを提唱しました。我が国もその趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等の啓発活動を推進しています。今年度のキャンペーンテーマは「知っているも、分かっていても AIDS IS NOT OVER」とし、一人ひとりがHIV・エイズの正しい知識を得て、「予防、検査、治療、支援、理解」といった具体的な行動をとることの重要性を訴えています。

京都市においても、これに合わせて12月1日に下京保健センターで臨時の夜間HIV即日検査・性感染症検査(要予約・無料・匿名)を実施します。詳細については、以下のホームページを御覧ください。

- \* AIDS患者 : AIDSと診断されて発生が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)
- \*\* HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

### 【厚生労働省】

○「12月1日は「世界エイズデー」」 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/>

### 【京都市の世界エイズデー関連事業の実施について】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000157361.html>

### 【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000136959.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成23年	229	74	155	212	17
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年(1～9月)	13	4	9	13	0
総計	299	97	202	277	22

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成28年(1～9月))

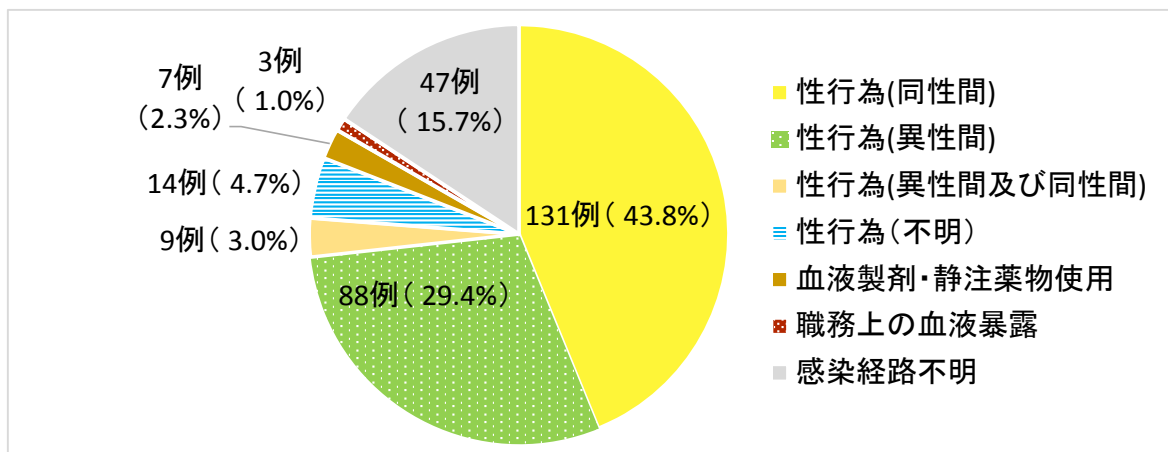
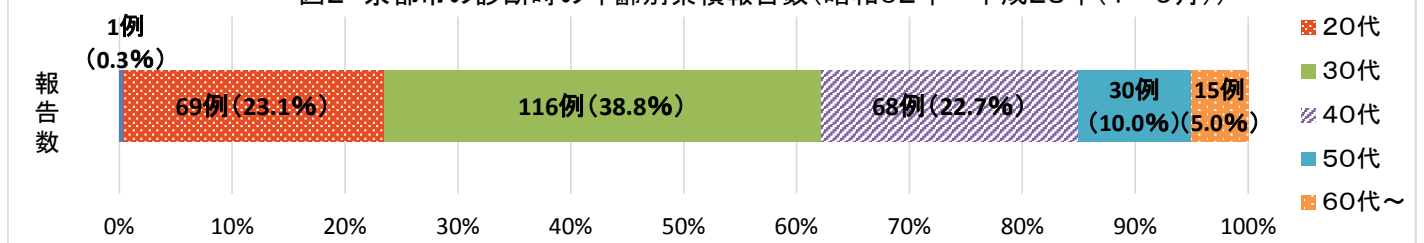


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成28年(1～9月))



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第46週

疾病,行政区別報告数

平成28年11月14日～平成28年11月20日

データ入手日:平成28年11月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	3	1	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	3	1	3	4	14	-	-	-	1	-	1	-	-	-						
左京	2	4	2	2	72	-	3	-	1	-	4	4	-	-						
中京	4	1	2	1	16	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	2	2	-	-	36	1	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	11	9	-	9	6	3	3	-	-	-	-	8	-	-						
下京	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	6	-	1	3	30	1	-	-	1	-	1	5	-	-						
右京	2	4	12	13	152	-	4	-	1	-	2	8	-	-						
伏見	3	7	5	6	129	-	6	2	8	-	5	7	-	-						
西京	4	7	-	5	98	1	-	-	1	-	-	6	-	-						
京都市計	37	38	26	44	570	6	16	2	14	-	13	42	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.75	0.25	-	3.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	0.60	0.33	1.00	1.33	4.67	-	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-						
左京	0.29	1.00	0.50	0.50	18.00	-	0.75	-	0.25	-	1.00	1.00	-	-						
中京	0.80	0.33	0.67	0.33	5.33	-	-	-	-	-	-	1.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	1.00	-	-	18.00	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	1.57	2.25	-	2.25	1.50	0.75	0.75	-	-	-	-	2.00	-	-						
下京	-	-	-	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.20	-	0.33	1.00	10.00	0.33	-	-	0.33	-	0.33	1.67	-	-						
右京	0.25	0.80	2.40	2.60	30.40	-	0.80	-	0.20	-	0.40	1.60	-	-						
伏見	0.27	1.00	0.71	0.86	18.43	-	0.86	0.29	1.14	-	0.71	1.00	-	-						
西京	0.50	1.40	-	1.00	19.60	0.20	-	-	0.20	-	-	1.20	-	-						
京都市計	0.54	0.90	0.62	1.05	13.57	0.14	0.38	0.05	0.33	-	0.31	1.00	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第46週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年11月14日～平成28年11月20日

データ入手日:平成28年11月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	37	-	-	1	1	1	1	-	1	1	1	2	4	2	6	3	7	4	2	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	38	6	12	12	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		26	-	-	4	4	3	5	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	-	-	2	4	4	13	6	7	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		570	2	34	84	70	64	60	55	48	23	25	24	27	11	43	-	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		16	-	-	3	4	5	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	-	7	5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		13	-	-	6	2	1	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		42	-	-	2	1	5	5	7	6	5	3	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.54	-	-	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	0.03	0.06	0.03	0.09	0.04	0.10	0.06	0.03	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.90	0.14	0.29	0.29	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.62	-	-	0.10	0.10	0.07	0.12	0.17	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	-	-	-	0.05	0.10	0.10	0.31	0.14	0.17	0.12	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		13.57	0.05	0.81	2.00	1.67	1.52	1.43	1.31	1.14	0.55	0.60	0.57	0.64	0.26	1.02	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.38	-	-	0.07	0.10	0.12	0.02	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.33	-	0.17	0.12	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.31	-	-	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.00	-	-	0.05	0.02	0.12	0.12	0.17	0.14	0.12	0.07	0.05	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第46週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年11月24日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5	5	12	9	24	37
RSウイルス感染症		53	51	56	37	42	38
咽頭結膜熱		11	15	11	13	13	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	39	26	23	36	44
感染性胃腸炎		195	176	234	262	410	570
水痘		6	11	7	7	4	6
手足口病		30	32	21	23	9	16
伝染性紅斑		-	2	-	1	2	2
突発性発しん		14	5	10	13	17	14
百日咳		-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ		19	9	7	9	4	13
流行性耳下腺炎		53	68	46	48	54	42
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	4	1	5	3	1
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		412	417	431	451	618	809

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.07	0.07	0.17	0.13	0.35	0.54
RSウイルス感染症		1.26	1.21	1.33	0.88	1.00	0.90
咽頭結膜熱		0.26	0.36	0.26	0.31	0.31	0.62
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.55	0.93	0.62	0.55	0.86	1.05
感染性胃腸炎		4.64	4.19	5.57	6.24	9.76	13.57
水痘		0.14	0.26	0.17	0.17	0.10	0.14
手足口病		0.71	0.76	0.50	0.55	0.21	0.38
伝染性紅斑		-	0.05	-	0.02	0.05	0.05
突発性発しん		0.33	0.12	0.24	0.31	0.40	0.33
百日咳		-	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ		0.45	0.21	0.17	0.21	0.10	0.31
流行性耳下腺炎		1.26	1.62	1.10	1.14	1.29	1.00
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.40	0.10	0.50	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		9.99	10.19	10.23	11.04	14.72	18.99

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。